

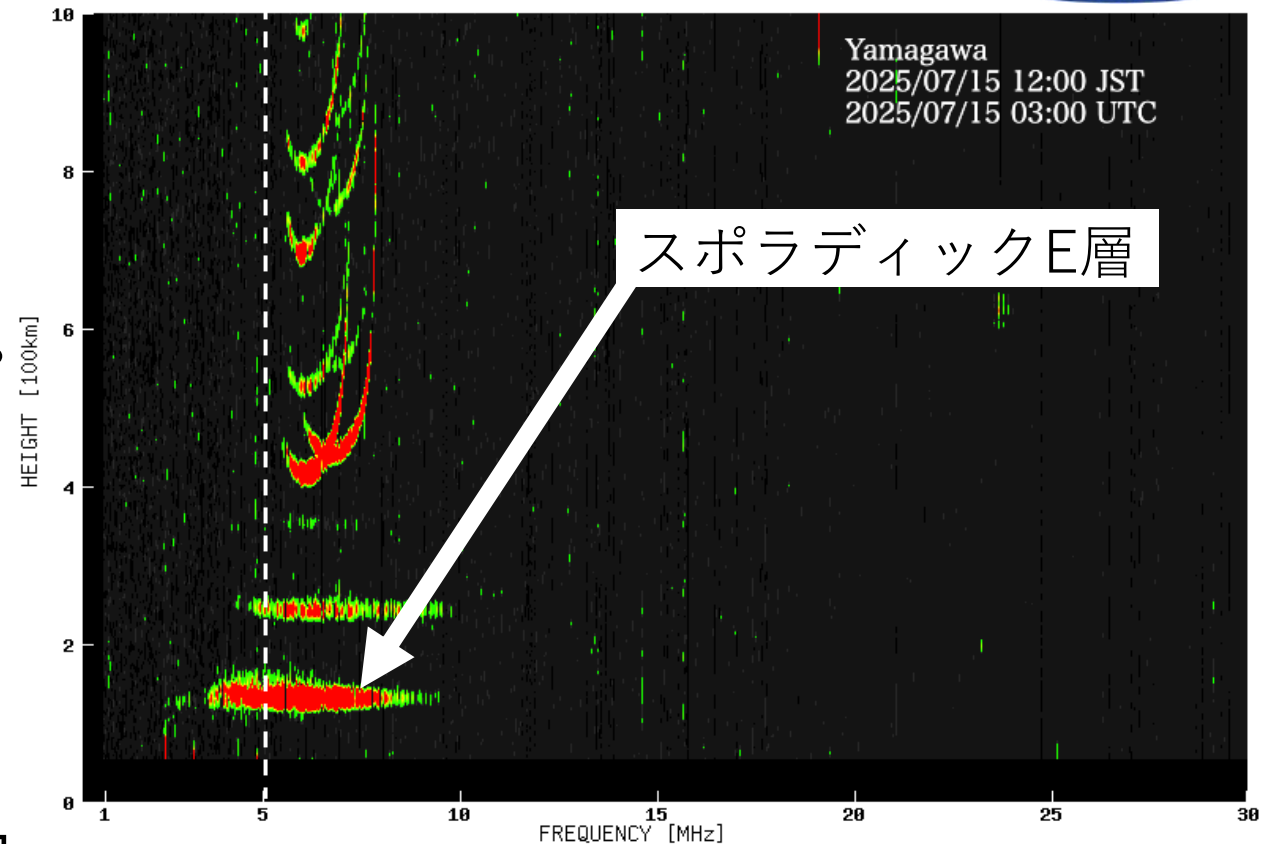
観測ロケットS-310-46号機実験 「中緯度域電離圏におけるスプラ ディックE層の形成過程の解明」 打上げ後実験報告(速報)

2025年7月15日

実験主任:	羽生宏人(JAXA)
搭載観測機器主任:	阿部琢美(JAXA)
実験提案代表者:	齊藤昭則(京都大学)



- 情報通信研究機構山川電波観測施設イオノゾンデ(鹿児島県指宿市)の観測によってスプラディックE(Es)層の発生を確認し、S-310-46号機打上げを実施した。
- S-310-46号機搭載のインピーダンスプロブによる電子密度測定によって、高度100km付近においてEs層を観測した。
- 他の6つの搭載機器もEs層内部と周辺においてデータ取得に成功した。
- 今後、取得したデータを解析し、地上観測、数値モデルとあわせて、Es層がどのようにして作られるのかを解明する。



情報通信研究機構山川電波観測施設イオノゾンデによる2025年7月15日12:00の観測
[情報通信研究機構提供]